

令和6年度「元気じゃけんひろしま21(第3次)推進会議」全体会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年3月17日(月)19:00～20:30
- 2 開催場所 広島市役所2階 講堂
- 3 出席者 出席者名簿のとおり(委員24名、オブザーバー8名、関係課7名)
- 4 傍聴人 0人
- 5 議題 (1)「元気じゃけんひろしま21(第3次)」のベースライン値の設定及び目標値の変更について
(2) 令和6年度取組状況及び令和7年度計画について

6 発言要旨

区分	発言要旨
事務局	【座長及び副座長の選出】
事務局	【議題1 「元気じゃけんひろしま21(第3次)」のベースライン値の設定及び目標値の変更について】 資料1、別紙に基づき説明
座長	ただ今の事務局説明を受け、意見や質問はないか。(意見・質問無し)
座長	【議題2 令和6年度取り組み状況及び令和7年度計画について】 各団体から、資料2に基づき説明いただきたい。
委員	中国新聞の紙面では、毎週水曜日に「くらし面」を展開しており、医師の寄稿で様々な疾患の最新治療等を紹介したり、「けんこう掲示板」という欄で、様々な講座やシンポジウムの告知など、健康に関する情報を得られるようにしている。皆様方からも、健康づくりに関する地域での催し物や取組状況等の情報を寄せて頂ければ、積極的に掲載していきたい。
委員	学術講演会や安芸地区医師会・教育委員会連絡協議会や産業医・衛生管理者等研修会、広島地域産業保健センターの相談窓口業務等を実施している。 また、在宅医療の場において、主治医が24時間対応することが大きな負担であることから、主治医が対応できない場合には、バイタルリンクの連絡帳機能を活用し、副主治医が対応できるような体制を構築している。
座長	がん、循環器疾患、糖尿病、COPD の診断・治療や広報活動の実施など行っている。また、乳幼児健診・学童検診、働く世代の特定健診を実施するとともに、子宮頸がんワクチンや乳幼児への各種ワクチン、新型コロナワクチン、高齢者に対するインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンを実施している。 また、各区医師会においては、学術講演会や予防接種講習会、学校医部研修会、病診連携・診診連携の推進、救急体制の充実、区民まつり等のイベントでの健康相談を開催している。
委員	「いい歯のキャンペーン事業」では、こども園、幼稚園、地域子育て支援センターで歯磨き指導等を実施している。また、意識啓発事業として、歯ブラシとフッ化物配合歯磨剤の選び方に関するリーフレットの配布、通いの場等でのアウトリーチ型オーラルフレイル予防事業、おくちの健康展の協力や地域口腔保健活動に従事する人材の育成として研修会を行っている。

委員	8月4日を「栄養の日」として、その前後の日程に事業を開催している。今年度は県内6支部と、認定栄養ケアステーション11か所で「口から摂取する栄養についてのクイズ」や、体組成計での測定等を実施している。 併せて、県民フォーラムやおくちの健康展への参加、保護者へのセミナー啓発活動等も実施している。また、健康教室や栄養食事指導、エコクッキング講習会の開催、食生活相談の実施、市町健康まつり等での栄養相談の実施で市民及び県民を対象に事業を開催している。
委員	各区の区民まつりで生活習慣改善・予防の啓発を行うとともに、やく薬フェスタでHbA1cと脂質測定を実施した。 また、薬物乱用防止キャンペーンや高齢者の保健事業であるポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチ事業、老人クラブや介護施設などへの薬の適正使用等についての講師派遣、ポリファーマシー対策事業、「2024 薬局へ行こう！」プロジェクト等も実施している。
委員	節目年齢歯科健診は、次年度から対象年齢に20歳が新たに追加されるため、受診率向上に向けて引き続き取り組んでいきたい。 また、啓発関係においては、糖尿病と歯周病の関連について、冊子配布や講演会を実施するとともに、医師の啓発も実施しているところである。引き続き、糖尿病との関連について皆様に広く知っていただきたい。さらに、フレイル予防についても、アウトリーチ型や地域での取組などを実施していきたいと考えている。
委員	昨今、高齢労働者が増加し、労働災害として転倒による怪我が目立っているため、当センターでは、高齢労働者に限らず、全労働者を対象とした転倒災害・腰痛災害の防止に向けて、運動の専門家である健康運動指導士や理学療法士を派遣し、労働災害の減少及び労働者の健康保持・増進を図るための事業展開に力を入れている。本事業では、実際に企業に出向いて体力測定を行うことで、事業者と労働者双方が、個々の体力の状況を客観的に把握し、体力に合った作業ができるようにするとともに、職場巡視も併せてハード面等のチェックも行っている。 その他の事業としては、メンタルヘルス対策等の事業も強化しており、引き続き働く人の心と身体の健康づくりに取り組んでいきたい。
委員	今年度は、会員事業所に対して生活習慣病健診及びミニ人間ドックの受診勧奨や、行政等と連携しながら健康経営に関するセミナーの周知を図っている。 また、今年度、商工会議所は健康経営優良法人 2025 に認定された。現在、メールマガジンで会員への情報提供を行っており、来年度はホームページをリニューアルする予定である。より会員にタイムリーな情報発信ができるよう、特に生活習慣病健診の奨励や、健康経営の取組、健康経営優良法人の取得について周知していきたい。
委員	今年度は、傘下の健保組合に向け、年間を通じて資料提供やホームページの掲載、ポスター掲示、がん検診の啓発活動を行っている。また、重症化予防指導の支援事業や傘下の健保組合役職員の啓発を目的とした役職員県外研修、健康づくりウォーキングや軟式野球大会などの健康増進を目的とした取組も実施している。 特定保健指導等支援の共同事業としては、15 組合に対して特定保健指導対象者及び40歳未満のメタボ予備軍等の対象者に保健指導を実施している。
委員	特定健診及び特定保健指導に関しては、被扶養者の受診率向上のため、通常の健診会場に加え、ホテルや協会等での大規模な特定健診を実施し、その場で保健指導も併せて実施することで実施率の向上を図っている。 コラボヘルスの推進に関しては、引き続き、ひろしま企業健康宣言エントリー事業数の拡大支援や、エントリー事業所へのフォローアップ事業、健康づくり講座等を実施する。
委員	国民健康保険の保険者支援として保健事業を実施しており、特定健診の受診勧奨として、主に広報事業に取り組んでいる。また、保険者が実施する特定健診の受診勧奨や、糖尿病性腎症重症化予防等の事業に用いられる各種データを作成し、提供を行っている。
委員	今年度は、元気じゃけんカレンダー及び各方面からのポスター等の掲示を行っており、その他連合会で検討・実施中である。

委員	第3次計画の基本方針②の地域づくりや多様な主体による健康づくりに視点をおくとともに、精神保健福祉という観点から、ピアや相互理解等に資するよう取組を進めている。特に、地域の方々や支援者など、皆に理解が進むような研修を進めており、好評を得ている。来年度も中身を練って研修を開催したい。 その他の取組としては、精神保健福祉活動に従事された方々を会長表彰したり、地域との交流している方に助成金を出す等で多様な健康づくりに寄与している。
委員	食品衛生法に基づき、食品関係の施設に設置義務のある「食品衛生責任者」の養成講習会を開催し、年間1,000人～2,000人の受講者に、公衆衛生・衛生行政・環境衛生の目的、生活環境の衛生等を講習している。
委員	今年度、出張健診については、合計388回実施しており、来年度は午後の健診を増やして合計411回実施する予定である。また、夜間健診(検診)については、令和3年度から5会場で実施しているが、初年度のイオンモール広島祇園会場の37名の受診者から減少する一方である。今年度は、佐伯区や安芸区を追加して実施したものの、受診者は4～5名と少ないことから検討が必要である。 その他に、糖尿病の OGTT の実施や、骨粗しょう症検診の要精検者に当日中に精密検査を実施し、整形外科を紹介するなど、その日のうちに必要な医療を届けるようにしている。また、がん検診に関しても、悪性の疑いがある方には直接本人に連絡し、精密検査を実施し、医療機関へ紹介する形を徹底している。
委員	今年度は、各保健センターの生活習慣病予防教室や介護予防教室で、健康運動指導士による運動指導を実施し、各区の保健師と連携して介護予防に取り組んでいる。 また、令和6年に改訂された「健康づくりのための身体活動運動ガイド 2023」を、国民健康保険団体連合会と協働して「健康読本」として改訂し、専門職や国保加入者の運動の教本として利用できるよう配布している。その他に広島連合地区地域保健対策協議会糖尿病重症化予防対策委員会において、運動の問診票や啓発資料の作成等を行っている。来年度は市民の健康づくりをさらに進めていくため、指定運動療法施設が増設していくことを目指す。 その他に、市民が運動へ取り組むきっかけとして、ラジオ局やスポーツチームと協働した取組や、全世界が一斉に同日に運動を行う WWW国際スポーツウエルネスウィークエンドというイベントが広島で初開催され、協会より表彰を受けている。 産業保健分野においては、健康運動指導士は、健康経営エキスパートアドバイザーという資格を取ることができるため、各中小企業や大企業に出向いて高齢労働者の体力測定や的確な運動指導を行い、労働災害や生活習慣病を防ぐ試みを実施している。
委員	コロナ禍を経て、レクリエーションとしては思うように回復できなかった期間があったが、今年度は随分回復してきたという実感がある。 今年度は子供にもう一度目を向け、サマーキャンプやちびっ子チャレンジ体験、広島市ウォークラリー大会等を実施している。 来年度は、当協会が NPO 法人になって20周年となるため、まちづくり市民交流プラザで、初の試みの展示会を実施する。活動を振り返り、これからの時代の市民の暮らしや生活の課題に対応した「心の元気をつくり出すレクリエーション活動」について、提示する。また、来年度は取組の全てに「法人化20周年記念」という冠をつけ、大々的に実施していく。
委員	毎年10月頃に研修会を開いているが、数年間はコロナの影響もあり、オンラインでの発表や講演会を実施している。来年度は20回目の開催ということで、対面で実施できるよう、準備をしているところである。 また、スモークフリーアドバイザーの養成を目的としたスモークフリーピンバッジを関係各位に提供している。

委員	スポーツ推進員は各小学区に2～4人委嘱されており、健康のための運動や各種スポーツの実施・指導、スポーツ行事の運営を行っている。推進員の資質向上を図るため、リーダー研修会・区別伝達講習会を実施している。今年度は、心身障害者福祉センターの方を講師に迎え、視覚障害の方を対象に考えられた球技である「ゴールボール」を実施し、実務研修では広島発祥のスポーツである「エスキーテニス」を実施している。コロナ禍以降、参加者が随分減っている状況に苦慮している。地域住民の健康を考えながら、共に楽しむことや笑顔になってもらうことを目標に活動したい。
委員	東区(早稲田学区)における取組を紹介する。力を入れているのが、防災に関する取組である。防災士の育成及び地域における住民の防災意識の向上について取り組んでおり、年々災害が激甚化しているということを鑑みれば、今後は防災を基本にしたまちづくりが非常に重要になると考えている。
委員	今年度の大きな取組は、ホットスタッフフィールド広島を主会場とした広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルである。各区対抗や一般公募で、スポーツ交歓競技やソフトボール、バレーボール、グランドゴルフ等の一般競技を実施しており、若い人から高齢者まで参加できる大会である。昨年度は約3万6,000人の参加であったが、今年度は約4万1,000人の参加があった。一人でも多くの住民に参加していただき、子どものうちからスポーツに興味を持ってもらう中で、選手が出てくるようになれば広島にとっても非常に良いことではないか。 また、スポーツ選手やスポーツに関わる方を講師に迎えて講演会を実施し、日常生活の中で活かしていけるような話を聞くことができた。 さらに、今年3月に南区厚生部が実施したウォーキング大会においても、スポーツ推進委員と共に活動をしている。
委員	高齢化等の影響で会員が少なくなり、加盟の地区も減少している現状があるが、資料に記載のとおり、定期健診の受診を呼び掛けるチラシを配布したり、地域でのいきいき百歳体操やグラウンドゴルフ、ウォーキング等を推進している。健康寿命を伸ばすため、女性としてできること、つながりを増やしていくこと、若い方をいかに巻き込んでいくかということを目指して活動している。
事務局	資料3に基づき、健康推進課の令和6年度取組状況と令和7年度計画を報告
安芸区	資料3・P19の15「健康まつり・健康展」の内容について説明。 保健センターでは、主に事業を行っているのが平日であるため、直接アプローチすることが難しい世代があるのが課題となっている。特に食育に関する調査結果の報告書によると、食に関して充実してほしい情報提供の方法が、「食品販売店等の店頭での発信」で50.4%と回答割合が1番高い状況であった。 そこで、本市と連携協定を締結し、1日約1,300名の来店があり、利用者が世代を問わない生協ひろしま 船越店において、健康づくりの普及啓発を行う場として協働したものである。特に、野菜摂取量について、本市は1日350gという目標を掲げているが、現状は241.7gで約100gの野菜が不足している。このことについて意識してもらうため、栄養士が店舗と相談し、集約販売として「にんじんしりしり」というメニューで、にんじんとツナ缶を陳列し、そこで野菜摂取量350gという内容を普及啓発した。 その他にも、禁煙週間や元気じゃ健診等の内容について、店舗入口にお知らせブースを設置したり、保健センターの職員が録音・ナレーションした店内放送を実施した。
副座長	第3次計画は2024年度から2035年度までの期間を踏まえて実施をしていくこととなる。今回掲げたベースライン値に対して、目標値にいかにつ達していくかということは、様々な分野の積極的な活動により、目標達成を考えていけるのではないかと考える。 また、健康寿命の延伸や住民のQOLの向上が健康づくりの最終目標となるが、国の推計試算などによると、高齢者を支えるサービスや医療等が立ち行かなくなるという内容も情報発信されているため、基盤を整えて推進していく非常に大切な時期に来ていると考える。皆で当該計画を盛り立てながら推進していければと思う。

事務局	委員の皆様においては、「元気じゃけんひろしま21（第3次）」の推進に多大なるお力添えをいただき、感謝する。引き続き、健康づくりの取組の更なる推進に御協力いただきたい。
-----	---